

女性が働きやすい職場へのバージョンアップアドバイザー派遣【宮城県】

総事業費	7,989 千円
交付金額	3,995 千円

地域の実情と課題

宮城労働局が発表している「令和6年3月新規大学等卒業予定者の就職(内定)状況について」によると、大学、短期大学などを卒業し、就職する若年層の半数以上が県外に転出していることが判明している。特に女性の転出超過が続いていることから、女性活躍の推進やアンコンシャスバイアスへの対応など女性にとって働きやすい環境を整備することにより、若年女性の定着を図るための取組を進める必要がある。

事業の特徴

企業における女性人材の活躍や、女性の働きやすい環境整備に意欲がある県内の事業所等へ社会保険労務士等のアドバイザーを派遣し、現状の分析や目標の設定、就業規則改正等に係る伴走的な支援を行うもの。また、支援に際しては各種認証制度(「えるぼし」、「くるみん」、「女性のチカラを活かす企業認証制度」(県認証制度)。以降同じ。)等の認証取得を促しており、企業における就労環境向上の取組の見える化を図っている。

事業の効果

女性が働きやすい職場環境の整備について、支援先企業における新規取り組みの啓発や、既に取り組んでいた内容の深化をもたらした。なお、派遣を通じて各種認証の取得に至った企業も散見された。

目的・目標

県内企業における女性が働きやすい環境整備を支援するもの。また、各種認証制度の一層の普及・啓発を図り、女性活躍に関する取組を全県的に広げていくもの。

	目標・KPI	目標	実績	達成率
事業目標	アドバイザー派遣回数等	派遣企業30社 派遣回数150回 (アウトプット)	累計派遣企業39社 (昨年度比+12社) 累計派遣回数156回 (昨年度比+51回)	117%

連携団体

一般社団法人宮城県経営者協会、公益財団法人せんだい男女共同参画財団、宮城県町村会、仙台経済同友会、仙台市、特定非営利活動法人イコールネット仙台、日本労働組合総連合会宮城県連合会、宮城県漁業協同組合、宮城県商工会議所連合会、宮城県商工会連合会、宮城県中小企業家同友会、宮城県中小企業団体中央会、宮城県農業協同組合中央会、宮城労働局

今後の課題

支援により実現した職場環境整備を、事業の目的たる女性の県内定着に、より具体的に結びつける必要がある。特に、当該事業のこれまでの成果に鑑みると、当該事業による成果である職場環境の整備状況を、県内外の女性に積極的にアピールできるよう、企業が取得した各種認証も活用しながら、より効果的に情報発信できる環境を整備する必要がある。

事業の概要

○ 女性が働きやすい職場へのバージョンアップアドバイザー派遣 ○

企業における女性人材の活躍や、女性が働きやすい環境整備に意欲がある県内の事業所等へ、社会保険労務士等のアドバイザーを派遣し、現状の分析や目標の設定、就業規則改正等に係る伴走的な支援を行うもの。

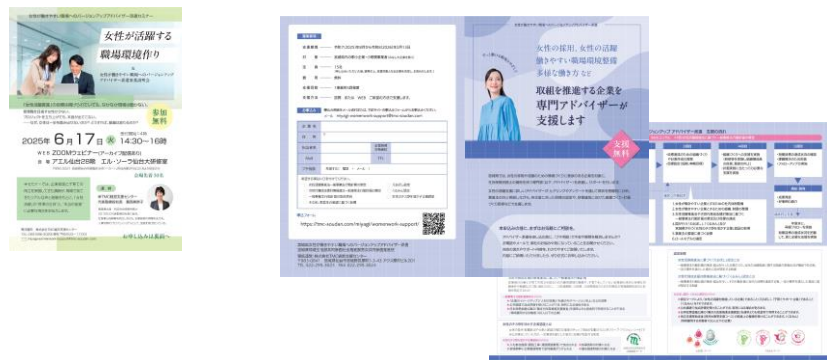
- ・ 派遣実施期間
令和7年8月から令和8年3月13日まで
- ・ 派遣回数
宮城県内の中小企業、小規模事業主（みなし大企業を除く）に対し、1事業者あたり5回程度派遣（最大15社まで派遣を予定）

【事業の流れ】



- ・ 派遣回数5回程度の範囲内で、以下の各段階の内容を基本に、派遣先事業者の環境整備の進捗状況に合わせて支援を実施
- ・ 規定の整備や職場の意識改革等に係る助言の他、各種認証取得についても支援

- ・ 事業内容の周知も兼ねて開催（開催日：令和7年6月17日）
- ・ メールまたはwebで受付（説明会への参加有無は問わない）



・このほか、派遣先事業者による成果報告会を実施

< 結果・実績 >

	目標・KPI	目標	実績	達成率
事業目標	アドバイザー派遣回数等	累計派遣企業30社 累計派遣回数150回 (アウトプット)	累計派遣企業39社 (昨年度比+12社) 累計派遣回数156回 (昨年度比+51回)	117%